

「令和5年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.11)」

■ 研修時期・研修先

時 期：令和5年9月22日（1日）

研修先：株式会社いわて銀河農園
（大船渡市）

■ 研修生について

県外在住のMさんは、地元の岩手県で雇用就農ののち、独立を考えています。県内外の就農相談会での相談を経て、興味のあるトマト栽培を体験し、雇用就農の現実感を知りたい！とお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

株式会社サラダボウル（山梨県）との共同出資で、県内初のトマトの高度環境制御施設を平成31年に建設し、ロックウールを用いた養液栽培で、中玉トマトを1.5ha（ハウス1棟）生産しています。

海外からの技能実習生の受入れも行っています。

【HP】 <https://www.salad-bowl.jp/group/iwate-ginga/>

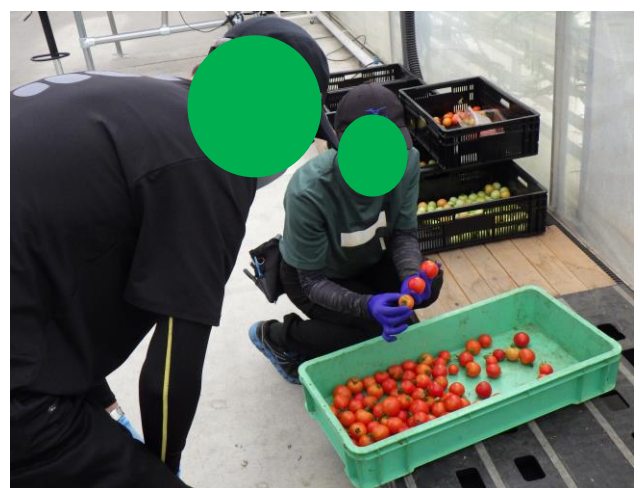
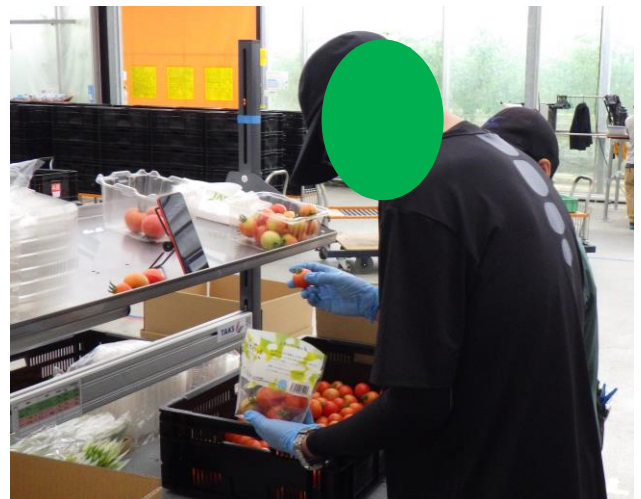
■ 研修の内容

施設の概要説明、中玉トマトの選果・パック詰め、トマト苗の葉かき作業、研修の振り返り



■ 研修の感想

- ・ 覚えることの多さや、従業員のみなさんの作業のスピードに圧倒されました。
- ・ 生産物が、消費者に届くまでの苦労や大変さが理解できました。
- ・ 体験を通して、養液栽培の施設や設備を揃えることは難しいと感じたので、独立する際は、露地栽培からの就農を検討したいと思いました。
- ・ トマトの選果や、葉かき作業以外の管理作業も体験してみたいとなりました。



■ 今後の目標等

他にも同様の体験研修などがあれば、積極的に参加し情報収集したいと思います。